

コシヒカリの倒伏防止対策

平成 22 年 7 月 7 日

新潟県農林水産部

7月5日現在のコシヒカ리는、平年に比べ草丈が長く、葉色が濃いことから倒伏が懸念される稲姿になっており、1回目の穂肥が施用できる状況にありません。

[今年の穂肥対応のポイント]

- 1回目の穂肥(出穂前18~15日)は施用しないでください。
- 2回目の穂肥(出穂前10日)は、農業普及指導センター等の最新の技術情報に基づき、慎重に対応してください。

1 7月5日現在の生育状況(農業普及指導センター調査。県全体)

	調査値(平年との比較)	特記事項
草丈	66 cm (114%)	倒伏が多かった平成20年に比べると117%
茎数	408 本/m ² (84%)	
葉色	39.8(+2.1ポイント)*	倒伏が多かった平成20年より更に濃く、近年では最も濃い

*: 葉色は測定機器(SPAD)による測定

2 出穂期について

田植後の気温、葉数の進みから、本年の出穂期は概ね平年並みからやや早いと見込まれる。

【農業普及指導センター気象感応ほの出穂期の平年値(15カ所平均)】

田植時期	出穂期
5月12日	8月9日

[参考] 出穂期からみた穂肥時期

1回目	7月22日~25日
2回目	7月30日

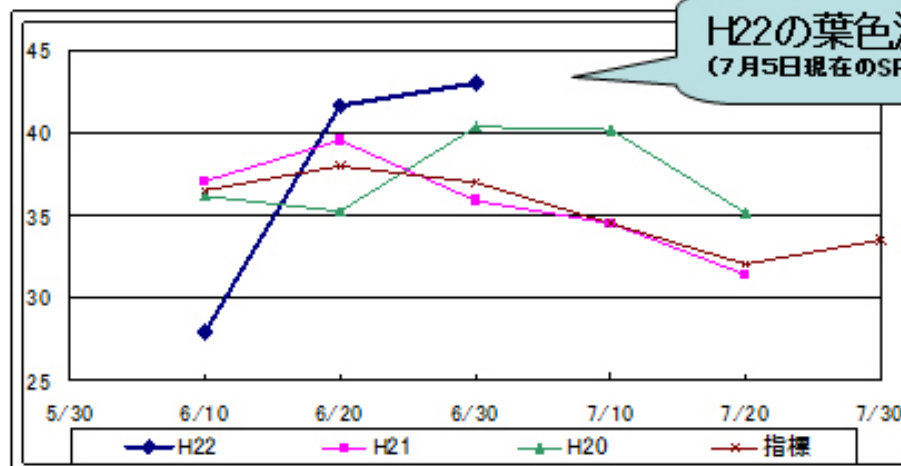
3 その他

田植時期や地域・管理等により生育に差があることから、農業普及指導センター等の最新の技術情報に留意してください。

今年は葉色が濃く、
柔らかいので注意!!

穂肥の1回目慎重!! で倒伏防止

◆今年の稲は、葉色が濃く、柔らかいうえ、草丈が伸びていることから、穂肥の1回目は、十分慎重に対応してください。



H22の葉色濃い
(7月5日現在のSPAD値)

◆穂肥1回目(出穂18日前、幼穂長さ1cm)の稲姿を確認して穂肥対応しましょう。

【穂肥の1回目を施用できるめやす】

- ・草丈は75cm以下
- ・葉色は葉色板(群落)で3.5以下

※詳しい情報方法は、穂肥現地指導会、魚沼農業普及指導センターホームページで確認できます。
(http://www.pref.niigata.lg.jp/uonuma_nogyo/1212512530500.html)

不明な点は農協営農センターまたは普及センターまでおたずねください。

JA北魚沼、農業普及指導センター、魚沼市、NO SAI魚沼